

脳卒中の最新の治療と予防

名古屋市立大学大学院 医学研究科 脳神経外科学 教授 間瀬 光人

現在、脳卒中は我が国における死因の第4位（平成28年）と、徐々に順位は下げているものの、入院患者数では第2位（平成26年）である。また要介護の原因では第1位（平成22年）、国民医療費は第3位（平成21年）を占め、高齢者（75歳以上）一人あたりの国民医療費としては第1位である（平成19年）。我が国はすでに世界で最も速く超高齢化社会となっているが、高齢者に多い脳卒中後遺症をどのように

社会で支えていくか、非常に大きな問題であり解決すべき課題である。最も重要なのはまず脳卒中にならないこと、またなったとしてもどうしたら後遺症を少なくすることができるかである。本講演では脳卒中のうち、最も多い脳梗塞と、致死率の高いくも膜下出血について、最新の治療法と予防について画像や動画を用いて概説する。